

富山タブレット研究会

第3回2005年の夜の研修会で盛り上がり

企業との現場の連携を実現してみよう

企業（株）ワコムの思い

なかなか教育現場にタブレットが採用されない。

教師の思い

絵を描くにはマウスでは物足りない。
パソコン利用分野を広げたい。

計画

教師用のタブレット貸与

使用法の模索・今後の方向性を探る

児童用タブレットの貸与

ウリ 鉛筆で書くように入力できる

○ マウスよりも詳しく描けるツールとして適している。
↓
図工科でも活用できるし、理科の観察スケッチに適している。

○ 絵を描く道具だけでなく手書き文字入力装置として活用できる。
↓
低学年の文字入力装置として使うメリットも大きい。

鉛筆で書くように入力できる特性を生かした実践事例を作り、情報発信することが必要。

○ ペンタブレットに慣れる場が必要。
・ どのような活動が望ましいか、いろいろ試してみる。

○ 手書き入力ソフトの改良
・ 入力画面を低学年用に変更する必要がある。
・ 名前を「手書き君」としてはどうか。

実践・ソフトの改良

実践1 タブレットに慣れよう (6年生)

5分 タブレットを使ってバンドルされているゲームをしよう。

15分 鉛筆機能を使って詳しい絵を描こう。

- ・第1回 好きな絵を描いてみよう。
- ・第2回 筆箱の中にある物を描こう。
- ・第3回 指を描こう。
- ・第4回 掌を描こう。
- ・第5回 友達の顔を描こう

- ゲームから始めるのはペン操作やペン感覚になれるのに有効であった。
- 「詳しく描こう」と提示すれば、3回目ぐらいで慣れてきた。やり直しがきくところから、絵が嫌いだった子も熱中して描いた。しかし、絵が得意だったこの中には、一度ペンをタブレットから話した後にもう一度続きの線を描こうとするときにずれるのをいやがっていた。

- とっても楽しいけど、ペンでのドラック、ダブルクリックがやりにくい。(A児)

ワコムを取り組み

手書き入力ソフトの第1回目の改良

改良したものを使って

実践2 低学年にコンピュータを教えてあげよう (6年生)

- ・ 2年生の野菜カード作りを手伝おう。

- 手書き君で、「。」「ぬ」などの認識がうまくいかなかった。
- 2年生が使いやすいワープロソフトで、カーソルの位置に入力できなかった。

認識できない字は、いつも同じ。これじゃあ、低学年は、いやがってやらないよ。直るまではやりたくない。(B児)

実

践

企業（技術開発部）も交えての協議会

- ・ 慣れるために、バンドルされているソフトを行うことが非常に有効であった。ただ、低学年のことを考えると、もう少しゲームのスピードを遅くできるようになるとよい。
- ・ ゲームで慣れるよりも、白抜き文字の真ん中をたどっていくようなひらがな練習ワークシートを活用したらどうか。漢字筆順練習ワークシートでもおもしろい。学習の文脈の中で、学力を高めながらタブレットに慣れていくような教材やコンテンツを開発していく方がよい。
- ・ 6年生と低学年の交流であれば、そういったシートを6年生が、自分たちの手で作っていくのもよいと思う。

現在ここまで進んでいます。ここであげた実践以外にも取り組んでいます。

今回の2005年の会では、成果を発表できればと思っております。

実践3 低学年にコンピュータを教えてあげよう（6年生）

- ・ 1年生にコンピュータを教えてあげよう（計画中）

富山タブレット研究会

笹原 克彦	富山市立寒江小学校、
澤橋 直文	山田村立山田小学校
堀 泰洋	大沢野町立大沢野小学校、
白江 勉	砺波市立砺波東部小学校
深井 美和、渡辺 純恵	富山市立熊野小学校
鈴木 信也、尾島 良幸	富山市立藤ノ木小学校
高田 信夫 高陵社	
ワコム電子	
安部 正彦、林 哲也、山田 育範、畑 隆久（新宿）	
中西 康介 ワコム電子（本社）	
北島 久丈 ワコム電子（大阪）	
平野 泰之 ワコム電子（福岡）	

現場へのタブレットの普及

実践例の公開